

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 16, No. 1

神奈川県立生命の星・地球博物館

Mar., 2010



## 丹沢の砂金

神奈川県足柄上郡山北町 河内川  
右下の白いスケールは1 mm

いしはまさえこ  
石浜佐栄子 (学芸員)

河原や海岸で、<sup>さきん</sup>砂金が見つかることがあります。金は、他の鉱物に比べて何倍も重く、比重が19.3もあります。そのため、砂の中から比重の大きいつぶを選びわけるパンニング (p.8 参照) を行うと、容易に他のつぶと分けることができます。黒雲母や黄鉄鉱など似た色をした他の鉱物と間違えてしまう人もいますが、その黄金色の輝きや、パン(皿)を回しても水の中でどっしりとして動かない姿は「金」ならではのもので、見慣れると簡単に区別することができるようになります。

一口に砂金といっても、形も大きさもさまざまです。つぶの全てが金でできているわけではなく、銀も含まれていますし、石英など他の鉱物と一緒につぶを作っている不純物の多い砂金(写真左下)もあります。丹沢には昔、一時的にですが、金を採掘する鉱山があったそうです。河内川で採集された砂金は、大きくてもせいぜい胡麻つぶ、小さいものは目を凝らさなければ見えないような芥子つぶ以下のサイズですが、上流にどんな大地が広がっているのかを考えさせてくれる貴重な存在です。